



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL <http://medpeer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 (TEL) 03-6447-7961
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	547	51.6	92	283.4	89	314.8	50	634.1
29年9月期第1四半期	361	—	24	—	21	—	6	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 50百万円(634.1%) 29年9月期第1四半期 6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年9月期第1四半期	5	72	5	57
29年9月期第1四半期	0	79	0	76

(注) 当社は、平成29年9月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	1,539	—	888	—	56.9	—
29年9月期	1,611	—	825	—	50.5	—

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 876百万円 29年9月期 813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,245	44.0	245	197.6	225	240.9	120	—	13	74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	8,819,450株	29年9月期	8,734,450株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	一株	29年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	8,749,233株	29年9月期1Q	8,669,368株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する医療・健康産業においては、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者に達する事により社会保障費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題を背景に、健康寿命を延ばすこと及び社会保障費の増加に歯止めをかけることが喫緊の課題として認識されております。また、日本政府も『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置いた新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、MedPeerサイトを通じた医師への情報提供のみならず、予防・健康管理を含めたヘルスケア領域全般を事業領域として拡大させるとともに、各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高547,988千円（前年同四半期比51.6%増）、営業利益92,032千円（同283.4%増）、経常利益89,311千円（同314.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益50,060千円（同634.1%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間において、10万人超の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上施策を展開してまいりました。さらに、前連結会計期間からの再成長基調を継続するとともに、Web講演会などの拡販や新規クライアントの獲得等に注力し収益拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は469,452千円（同68.2%増）、営業利益は161,165千円（同152.1%増）となりました。

②ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第1四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営する健康相談プラットフォームサービス「first call」、及び、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業、並びに、パーソナルダイエットサービス「Diet Plus」の各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は78,629千円（同5.1%減）、営業損失30,810千円（前年同四半期は営業損失18,440千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて71,944千円減少し、1,539,164千円となりました。これは現金及び預金94,108千円の減少を主要因とするものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて134,691千円減少し、651,027千円となりました。これは未払法人税等41,689千円、長期借入金19,878千円、賞与引当金13,987千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて62,746千円増加し、888,136千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の額が50,060千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月6日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移すると見込んでおり、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,285	852,177
受取手形及び売掛金	333,188	355,718
その他	74,173	52,615
流動資産合計	1,353,647	1,260,511
固定資産		
有形固定資産	41,598	30,129
無形固定資産		
のれん	82,166	73,666
その他	44,429	41,433
無形固定資産合計	126,596	115,100
投資その他の資産	89,266	133,423
固定資産合計	257,461	278,653
資産合計	1,611,108	1,539,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,127	5,841
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	80,260	80,073
賞与引当金	18,914	4,927
ポイント引当金	41,062	35,460
未払金	120,629	116,352
未払法人税等	77,401	35,711
資産除去債務	—	17,953
その他	129,921	83,178
流動負債合計	534,315	439,498
固定負債		
長期借入金	230,690	210,812
資産除去債務	17,841	717
その他	2,871	—
固定負債合計	251,403	211,529
負債合計	785,718	651,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,393	516,743
資本剰余金	492,318	498,668
利益剰余金	△189,218	△139,157
株主資本合計	813,493	876,254
新株予約権	11,896	11,882
純資産合計	825,389	888,136
負債純資産合計	1,611,108	1,539,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	361,528	547,988
売上原価	97,224	159,377
売上総利益	264,304	388,611
販売費及び一般管理費	240,300	296,579
営業利益	24,003	92,032
営業外収益		
受取利息	0	—
受取補償金	1,836	—
その他	318	62
営業外収益合計	2,154	62
営業外費用		
支払利息	627	622
持分法による投資損失	3,840	1,807
為替差損	157	0
貸倒引当金繰入額	—	353
営業外費用合計	4,626	2,783
経常利益	21,531	89,311
税金等調整前四半期純利益	21,531	89,311
法人税、住民税及び事業税	2,623	31,624
法人税等調整額	12,089	7,626
法人税等合計	14,712	39,250
四半期純利益	6,819	50,060
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,819	50,060

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	6,819	50,060
四半期包括利益	6,819	50,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,819	50,060

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第1四半期連結会計期間において、平成30年3月に本社を移転することを決定いたしました。これにより、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、償却に係る合理的な期間を短縮しております。また、移転に伴い利用不能となる本社の「建物」、「工具、器具及び備品」について、耐用年数を移転予定月までの期間に見直し、変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は13,903千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	279,171	82,356	361,528	—	361,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	462	462	△462	—
計	279,171	82,818	361,990	△462	361,528
セグメント利益又は損失(△)	63,937	△18,440	45,497	△21,494	24,003

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去462千円、各報告セグメントに配分していない全社費用21,956千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	469,452	78,536	547,988	—	547,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	93	93	△93	—
計	469,452	78,629	548,081	△93	547,988
セグメント利益又は損失(△)	161,165	△30,810	130,354	△38,322	92,032

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去990千円、各報告セグメントに配分していない全社費用39,312千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。